

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2023年5月号

森のおくりもの5

NO.370 The Gift from Woods

ミドリカミキリ (カミキリムシ科)



公益財団法人
仙台市公園緑地協会
Sendai City Green Association



緑の金属光沢が美しいこの甲虫。体や前脚と後脚も細いスレンダー体形でクールだと思いませんか。アゴを使って前脚の手入れをしている様子が珍しかったので、この姿を皆様にもおすそわけです。体の色は、赤銅色や青紫色の個体もあるそうなので次の出会いが楽しみです。甲虫の種類がどんどん増えるこれからの季節、観察の森を歩けば歩いただけ、新鮮で心ときめく出会いが訪れますよ。4月のガイドウォークでは、参加者の目の前に現れた「ニホンカモシカ」にサプライズ！【館長：佐藤由美】

森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『百花繚乱(ひゃっかりょうらん)』

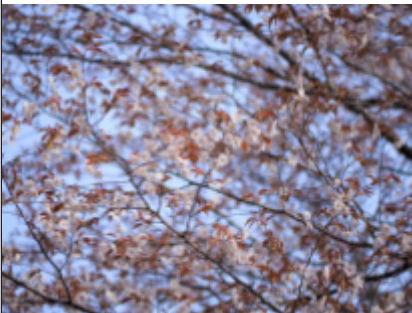
3月は異例の暖かさでしたが、4月も高温傾向が続き、日によって5～6月並みの陽気が多く、例年よりもかなり早いスピードで様々な植物の開花が推移して行きました。まだ4月だというのに5月に咲く花が既に咲いて、しかも盛りを過ぎている種類もある状況に驚き、今が何月なのか分からなくなりました。森の樹々は早くも新緑となり、林床が暗くなって行きつつあります。

「百花繚乱」という言葉があります。「一時期に多種多様な花が咲き乱れること」という意味です。冬枯れで寂しげな森が春になると花が咲き始め、にぎやかになります。4月の花は4月に、5月の花は5月にという具合に、種類ごとに咲く時期があるので、通常の状態では百花繚乱とは言い難いと思っていました。でも今年は、急に暖かくなったことで開花が早まり、3～5月の花の時期が重なって、様々な花が咲いて百花繚乱と表現できるほど華やかになったと感じました。

百花繚乱はいいイメージの言葉なのですが、一度にたくさんの種類の花を楽しむからと喜んでばかりではいられないようです。各地で桜の開花宣言が観測史上最速になった中、桜まつりのイベントの日程をどうするかが話題となっていました。前倒しで開催できればいいのですが、諸事情で計画を変えられないところもあるようです。私も近くの桜の名所を見に行ったら、桜まつりを当初の日程通りで開催していて、その頃にはもう散ってしまった後でした。北東北では、ゴールデンウィークの観光で期待しているでしょうから、とても大きな問題です。また、気候変動で水不足や気象災害が発生してしまわないかなど、各方面から心配の声が聞こえてきます。

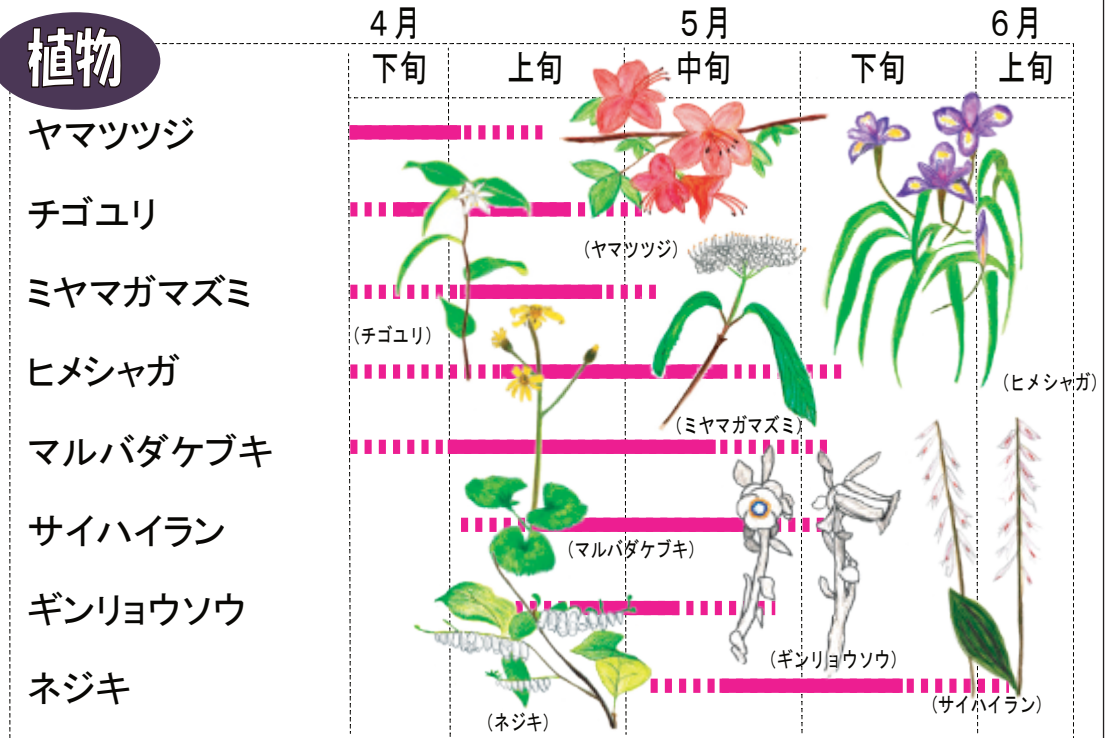
この暴走した自然の推移はいつまで続くのでしょうか。天気の長期予報によると、6月も平年よりも高い傾向が続くと言っていました。このままでは行事や情景などの風物詩が変わってしまいかねません。こうなってみて季節感って大事なのだと改めて実感しました。

【レンジャー：新田隆一】



5月の生物ごよみ

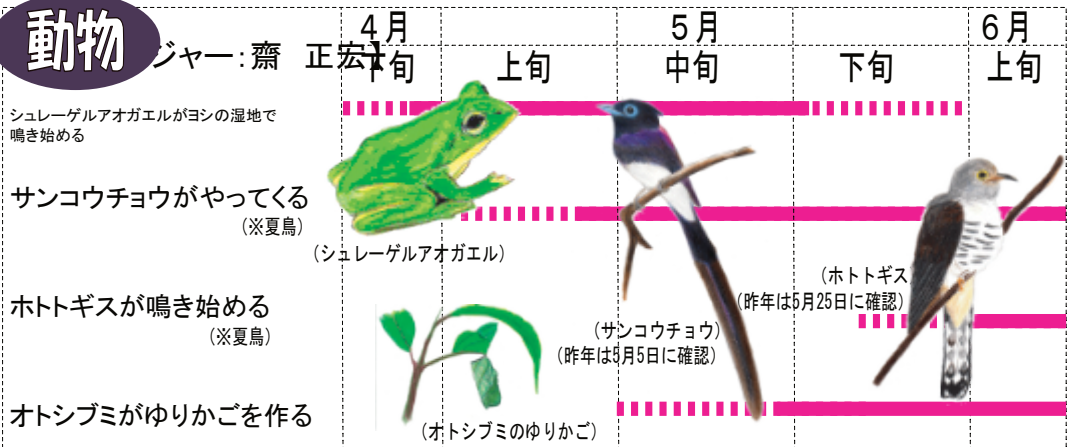
植物



今年例年になく早いスピードで植物の開花が進んでいます。毎年5月の初めに咲くヤマツツジや、5月を象徴するフジの花なども4月中旬頃から咲きはじめました。5月初めに咲くほとんどの草花が4月中旬ごろから開花しています。温暖化の影響なののでしょうか。今までは四季を感じながら順番に咲いていた花たちが暖かさを感じ一斉に咲き始めたようです。すべての自然の動きがますます加速しそうな予感です。

【レンジャー：齋 正宏】

動物



※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

森の「あれこれ」



「観察の森の一番の歌い手は？」

ヤマツツジの丘の杭の陰で何かがガサゴソしていました。枯葉をひっくり返して餌を探していたその黒っぽい野鳥は杭の上ののると、一呼吸おいて右手に飛び去りました。一瞬でしたが何とか写真におさめました。「クロツグミ」の雄です。



春に南の地域から日本に渡ってきて繁殖をする野鳥を夏鳥と言います。その中でもキョロン キョロン キョコ キョコ グリ クエと複雑なフレーズでひときわよく響きわたるさえずりをするのがクロツグミです。

ムクドリくらいの大きさでその名の通り頭から背中、尾にかけて黒く、白いお腹には黒い斑点。下の写真が見やすいと思いますが、黄色いくちばしとアイリングがポイントです。ただしこれからの時期は葉っぱが茂ってその姿を見るのが難しくなるかもしれませんが、様々なメロディーを織り交ぜながら力強い声はよく響き、遠くからでも楽しめます。そのさえずりにいよいよ夏が近いと実感します。

【レンジャー：木田秀幸】



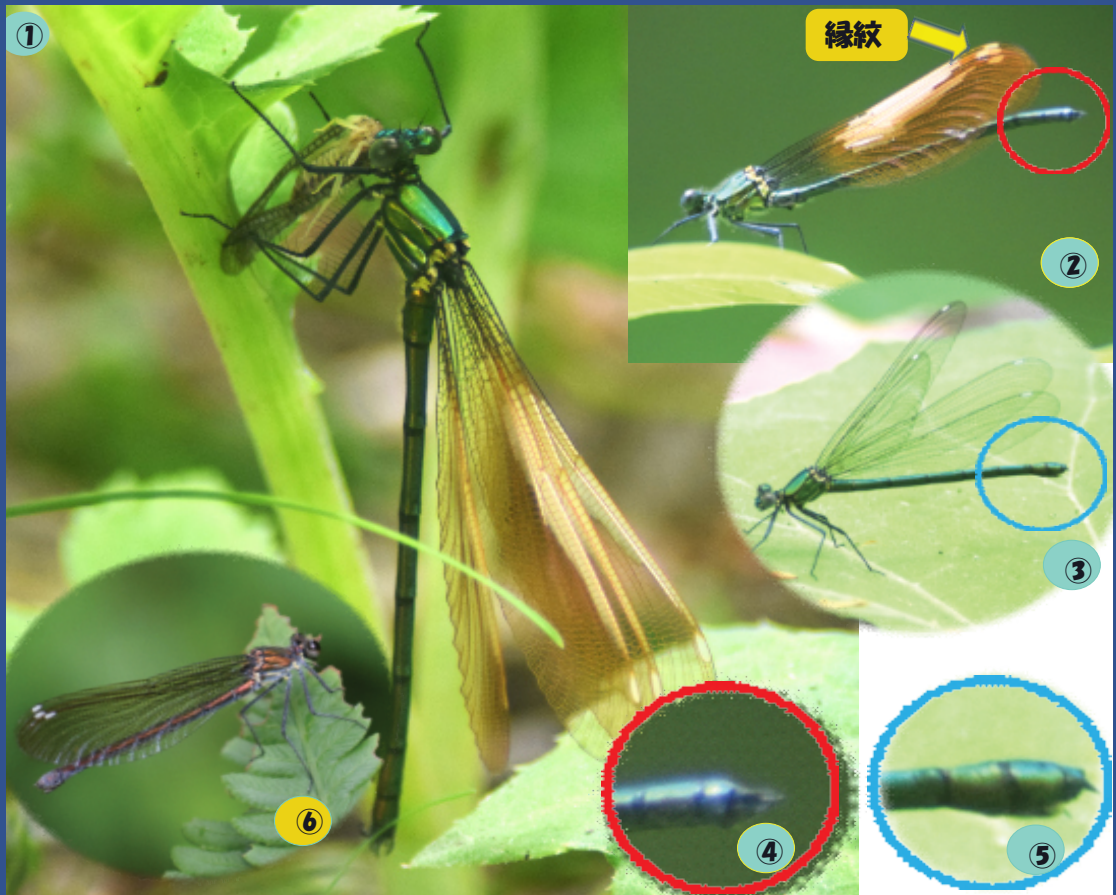
森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*~*)

成虫で越冬するオツネトンボを除いて5月になると様々なトンボが出現します。写真①は羽化して間もないニホンカワトンボの若い雄のようです。翅の色が橙色タイプで写真②の縁紋(黄色矢印)が褐色にならずにまだ白いことと、腹部の先端が(写真②の赤丸)拡大写真④のように膨らんでいないのでどうも雄のように見えます。写真③はニホンカワトンボの雌で羽は無色透明です。腹部の先端は拡大写真⑤のようにだいぶ膨らんでいるので雄との違いがわかります。やがて成熟してくると、写真⑥のように胸部や腹部が青白色の粉で覆われることが多くなります。雌の縁紋は成熟しても白色のまま褐色にならないので雄との区別がしやすくなります。 …(^~^)



ニホンカワトンボは緩やかな流れの清流域に生息するトンボで、5月から7月ぐらいまで見られます。雄は繁殖期になると水辺の石や植物に留まって縄張りを作ります。交尾後7月から8月にかけて雌は水辺の朽木などに産卵し、2~3週間後に孵化してヤゴになり、ユスリカや魚の稚魚、イトミミズを食べ、1~2年間水中で過ごします。成虫は、カやハエなどの虫類を食べ、寿命は1~2カ月ほどです。小さくて儂い命の昆虫ですが、この命を支えるためには樹林に囲まれた清冽な水環境の他にエサとなる生き物の生活環境も必要です。ニホンカワトンボに出会ったら、生を支えている環境や他の生物にも思いを馳せて見てください。 …(^~^) 【レンジャー:菅原幸彦】

5月のイベント & お知らせ



◆「おはよう野鳥かんさつ」

- 【日時】5月13日(土) 6:30~8:00
- 【対象】15名 (中学生以下は保護者同伴)
- 【持ち物】双眼鏡、飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】5月6日(土)午前9時より電話受付(先着)

◆「若葉の森の自然あそび」

- 【日時】5月13日(土) 10:00~12:00
- 【対象】小学生以上の子どもとその保護者 10名
- 【内容】草花を素材にした遊びを楽しみ、新緑の森の自然を楽しみます
- 【申込み】5月7日(日)午前9時より電話受付(先着)

◆はじめてバードウォッチング「バードウォッチング・カフェ」

- 【日時】5月20日(土) 6:30~8:00
- 【対象】小学生以上のバードウォッチング初心者の方 10名
- 【内容】飲み物を飲みながら野鳥のさえずりを楽しみます
- 【持ち物】双眼鏡、飲み物、マイカップ、かっぱ、帽子、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】5月9日(火)午前9時より電話受付(先着)

◆「初夏の鉤取山ネイチャーウォーキング」

- 【日時】5月27日(土) 10:00~15:00
- 【対象】小学生以上 20名 (中学生以下は保護者同伴)
- 【内容】鉤取山国有林の自然を講師の先生の解説を聞きながら歩きます
- 【持ち物】昼食、飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】往復葉書に住所・全員の氏名・年齢・電話番号(携帯電話)明記して5月16日(火)必着で(抽選) (1通につき4名まで)

ガイドウォーク 毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日: 7日, 14日, 21日, 28日
時間: 10:00~11:30, 13:30~15:00
※4月~11月は午前・午後の2回実施します

休館日



1日, 8日, 15日, 22日, 29日
毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合翌平日が休館

観察の森へのアクセス

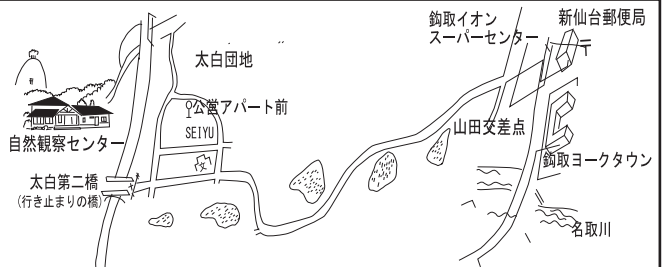


宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」
※③のみ可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」
いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会
編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター